

# とれみ

とれみ vol.47 2020年6月発行

とれみとは、ラテン語の「tres(3)」と日本語の「笑み」  
 三者の笑みを表しています。  
 一 施主、施工者、設計者



新型コロナウイルス感染拡大で尽力されている医療従事者、エッセンシャルワーカーの皆様へ応援と感謝のブルーライトアップが各地で行われています。弊社も、この取組みに賛同し、ささやかではありますが、三条通り側・4階の窓をブルーライトアップしてみました。

おかげさまで60周年  
**京都建築事務所**  
 ANNIVERSARY

Editors  
 富永 斉美 Hitomi Tominaga  
 浜口 直子 Naoko Hamaguchi  
 細岡 久美子 Kumiko Hosooka

お問い合わせ・ご相談は

株式会社 京都建築事務所

〒604-8083  
 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10番地  
 TEL:075-211-7277 FAX:075-211-7270  
 ホームページURL <http://www.kyoto-archi.co.jp/>  
 メールアドレス [info@kyoto-archi.co.jp](mailto:info@kyoto-archi.co.jp)



## 立命館大学 ヨット部艇庫

改築工事

滋賀県大津市 19年6月竣工  
 施主 学校法人 立命館  
 施工 株式会社 桑原組  
 鉄骨造地上2階建



琵琶湖のヨットハーバーに建つ大学ヨット部の合宿施設です。障害者がヨットを体験する「チャレンジヨット」やパラリンピック選手の育成も視野に入れて、エレベーターを設け、トイレや浴室もバリアフリー対応としています。外観は立命館のスクールカラーであり、ヨット部の伝統色でもある臙脂色をベースに、空と湖水の青とセールの白をアクセントカラーとしてシックにまとめました。  
 (宮本・波多野)



男子部屋

## 加賀屋診療所

移転新築工事

大阪府大阪市 19年8月竣工  
 施主 南大阪医療生活協同組合  
 施工 住光建設株式会社  
 鉄骨造地上3階建



外観

待合

敷地は、大坂南港から程近い住宅街で、周囲の景観になじむ外壁色としています。建物内部の診療所部は、シックで落ち着いた空間、通所リハビリテーション部は、利用者が終日過ごされる為、木調を中心としたあたたかみを感じられる空間を目指しました。

設計・監理にあたり、職員や地域の組合員の方々とワークショップや建設委員会の場を設けることで、円滑な合意形成が得られました。(細見・中村・丸山)

## ぜぜ診療所

移転新築工事

滋賀県大津市 19年5月竣工  
 施主 滋賀勤労者保健会  
 施工 五六七北川建設株式会社  
 木造地上2階建



外観

待合

木造準耐火構造の建物です。玄関に2階の屋根を葺き下ろして架構を見せることで、ダイナミックな外観デザインとなりました。またこの部分は燃え代設計を採用しており、柱・梁の断面が大きくなっています。通所リハビリテーション室は小屋裏を屋内に取り込んで勾配天井とし、ボリュームと活気のある空間としています。  
 (宮本・波多野)

外観

(宮本・波多野)

外観



株式会社前田組  
本社社屋

鹿兒島県鹿兒島市  
19年8月竣工  
施工主 株式会社前田組  
施工 株式会社前田組  
鉄骨造地上4階建

玄関ホール



オフィス



「つなぐ・ひろく・もてなす」を設計コンセプトに、社員の交流と、社外や地域の人々とも繋がるオフィス、災害時の受入れ拠点にもなる開かれたオフィスを提供できるオフィスとして計画しました。内装に木を採用し、向いの緑豊かな公園の景観を最大限取り込むようアメニティに配慮しました。

(川下・森下・中村)

NEWS



小笠原英爾は3月末日付で専務取締役を退任し、4月1日付で顧問に就任いたしました。

退任のご挨拶「光陰矢の如し。」

32歳で京都建築事務所に入社して45年が経過しました。この間、クライアントの皆様、建設関係の方々、金融機関の方々そして京都建築事務所の人達と協力事務所の皆様には本当にお世話になりました。

沢山の皆様との本当に有意義な出会いが数知れず生まれました。これらは全て私の貴重な財産だと思っています。

4月1日からは京都建築事務所の顧問という立場で、会社だけではなく社会にも貢献していきたいと考えています。これからもよろしくお願いいたします。(小笠原 英爾)

新型コロナウイルスの影響は長期化の様相ですが、弊社では皆様のご要望に応じられるように様々な可能性を日々探っております。

WEBを利用した打ち合わせ等も実施しておりますので、お気軽にご相談ください。



【特集】 医療法人一祐会 藤本病院

医療法人一祐会  
藤本病院  
増改修工事

大阪府寝屋川市 2020年3月竣工  
施工主 医療法人一祐会 藤本病院  
施工 株式会社前田組  
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下1階地上5階建



外観

設計趣旨

藤本病院は、大阪府寝屋川市で急性期、回復期、慢性期、地域包括ケア医療を担う148床の病院です。約2,000㎡の増築工事(鉄骨造地上4階建)を行うと共に、昭和56年建設の既存部分(RC造地下1階地上5階建)の改修工事及び耐震補強工事を行いました。

病院機能を維持したままの工事計画が求められました。まず初めに東側駐車場部分に増築を行いました。増築部の1階には産婦人科外来、2階には産科病棟23床(個室×7室、4床室×3室、未熟児室4床)を整備し、3階にはリハビリセンターを充実させています。また、3・4階に病室28床を設けました。

次に既存部分の耐震補強・改修工事を複数の工区・工期に分けて行うことで、病院機能、病床数を最大限確保しました。増築部に病室を設けたことで、既存部の病室もゆとりを持ったベッド配置とすることができ(6.4㎡以上/1床)、患者様のアメニティーを向上することができました。

最後にEVの耐震補強及び制御改修を行いました。

外観は温かみのある茶色とアイボリーのツートンカラーとするとともに、既存外壁のタイル部は、直接ピンでネットを貼る工法で浮き対策を行いました。内装は、白をベースに清潔感のあるデザインとしました。

(川下・若林・金重)



産婦人科待合

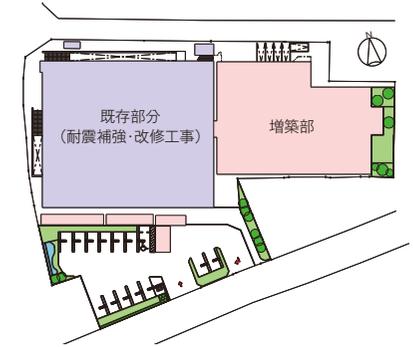


リハビリセンター

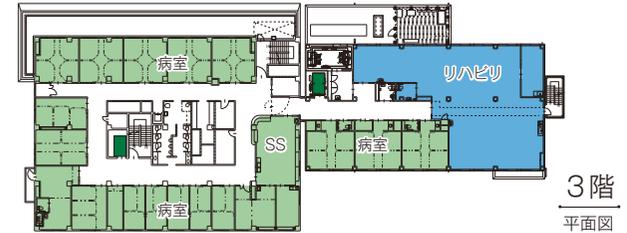


産科病室

配置図



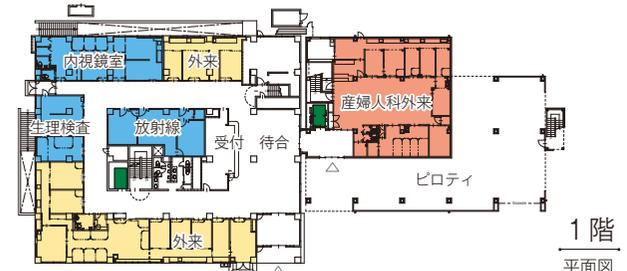
4階  
平面図



3階  
平面図



2階  
平面図



1階  
平面図